

会社は弱い者いじめをするな！ 有給の強制、昇給昇格の一時的中止

団交報告

2009年2月16日、14:00より第3貨物ビル会議室において団交が開かれました。

会社側出席者は佐野人事部長、中島氏、境氏でした。

有給の強制、残業の廃止、昇給昇格に関するものでした。

■昇給、昇格の一時的中止に断固反対！

一部の役員の報酬カットだけで

今回、一番負担がかかっているのは現場の社員だ！

今回の措置は、O&D(OFFICER&DIRECTOR)以外の管理職の個人的負担または削減はなく、ピラミットの上部（一部の役員）と下部（多くの平社員）のみのコスト削減となっています。

会社は、O&Dの5%の報酬をカットして削減を行うと発表し、今の経済状況を分かってほしい、今だけの緊急避難措置であると明言しています。

中部空港閉鎖などで誰も責任を取っていないのも FEDEX 全体の責任体制が曖昧になっているのではないのでしょうか？

今年の昇給、昇格をないとしています。入社間もない人から10年位の人達の若い社員たちが一番犠牲になっています。FEDEXは今、一番弱い人たちが最も負担を強いられ、良い仕事をして、良い査定をとって会社に貢献しても昇給はありません。弱い者いじめはするな！

■有給の強制使用に断固反対！

会社が閑散期だからといって、会社に出社したにも関わらず、MGRに『今日は暇だからこれから VACATION を取ってくれないか？』と有給休暇を社員に強制的に取らせる出来事がある部署で起こりました。

社員は働きに来ているのに、来てみたら今日は人が足りているから帰れと言われてたなら何のために会社に来たかわかりません。

Mgr がカニングハム氏の言葉をそのまま鵜呑みにして vacation を強制的に消化させているのはパワハラ以外ありません。

毎月のシフト表に mgr はサインしている＝承認している。はずです。Mgr が社員に強制はできません。

この問題で組合は即時に、会社に抗議して、今回の団交で、この日は出勤扱いにすることで問題を解決しました。

*出勤してから有給休暇を使えと言われ泣く泣く帰社

*勤務表が出来てからの強制→結果として残業の発生

*勤務表を作る段階での強制

勤務表を作る段階で勝手に人の VACATION を MGR が入れるのもあってはなりません。

いくら上層部から VACATION をこの時期に取れと言われても、VACATION は本人の希望（自由）です、強制的に休ませることはできません。

会社や管理職としての啓蒙運動は許せるが強制はするなと会社に強く抗議しました。（明らかにパワハラです！）

また、多くの管理職には労働法を全く知らない人もいますので、会社として指導並びに教育するよう要請しました。

■残業は会社(MGR)からのお願いである！残業は COMPANY ORDER(要請、依頼)である！

残業とは従業員個人の申請でなくて会社からの要請（命令）又は依頼で発生するものです。

本来は MGR（か INCARGE）から残業の要請（今は残業依頼書か？）が出るはずですが。

今は、各地域、各部署でバラバラに取り扱われている、残業のやり方を、この機会に法律の本来の姿に戻しましょう。

随時組合員の加入を行っております。

HPアドレスは <http://www.fdxunion.com>

メールアドレスは fdxunion@fdxunion.com